



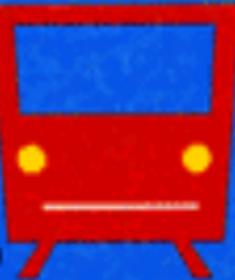
▲成金社長は吉本の漫才師、前田

反則ギリギリの荒技 華あるラフCM!

プロレスのチヨークスリバーは、頸動脈を締め、相手の呼吸を止める反則ギリギリの高等技術だ。で、「500年ほまたないゼロの家」なんて、言ってるのけるゼロコーポレーション(以下、ゼロ)のCMは、チヨークスリバーな作品だ。

だって、自社製品に対して否定形。広告ってのは本来、商品の良さを様々な工夫やコピーでPRするモノなのよ……。『500年もつ住宅自体あり得ません。ゼロの家は、500年ほまたないけれど国土交通省の基準である50年〜60年間(2世代間)は十分にもつという意味です』と、広報担当さん。

→ CMローカル線



ププツと

関西

～関西ローカルCMを
ぶらり探訪～

● 今回の停車駅 ●

「ゼロコーポレーション
・ゼロの家」CM



聞くところによると、以前は、「500年に一度の台風にも倒れません」というコピーだったらしいが、「500年もつ家ですか!」と、勘違いの問い合わせが殺到したらしい。今回は、それを逆手に取って「500年ほまたない!」にしたという訳。すると今度は、「CMの意図が分からない」との問い合わせが多発してるそう。でも、その度に広報が丁寧に説明するわけだから、キツチリPRになってるんだな。

プロレスだって、クリートファイトでないにしろ、華のあるラフファイターが正統派よりも人気を集めたりする。このCMにも同じことが言えそうで……。

ププツと注目



プロには出来ない大胆発想

成金社長が困いの蒼者に家を買ってやる時剛毅な注文をつけるが、ゼロの社員に「500年もつ家はない」と、たしなめられる設定は、シナリオも演出も全て同社の社長が担当。プロのクリエイターには、「作れない」大胆発想なのだ。